

会 議 録

会議名	令和5年度第2回西尾市図書館協議会
日 時	令和5年12月15日（金）午後3時～4時
場 所	西尾市立図書館 3階 会議室
出席者	安井会長、鳥山副会長、富田委員、今本委員、浅井委員、桐山委員、板倉委員、辻村委員、伊與田委員
欠席者	なし
市係等出席者	鈴木教育部次長、齋藤図書館長、生田館長補佐、黒野主任主査
傍聴者	なし

協議事項等については、以下のとおり。

1 開会あいさつ 安井会長

2 報告

（1）蔵書点検について（生田館長補佐より説明）

図書館では年に1回、市内の4つの図書館と4つの配本所を1週間程度休館し、貸し出しに出ていない棚に残っているすべての資料のバーコードを1冊ずつなぞって、なくなっている資料がないかを点検するのが蔵書点検です。

今年度は、この期間に図書館情報システムの更新も同時に行ったので、通常よりも2日間ほど長く休館させていただいた。

令和5年度は227冊が点検したときに本来は棚にあるべきであるが、実際にはなかったという資料の全館合わせた数字です。

令和4年度から不明の資料は、140冊です。また、令和3年度から不明の資料は124冊でした。西尾市の図書館では、3年続けて不明であった資料は、西尾市立図書館資料除籍実施要綱の規定により除籍をすることを定めており、令和3年度から不明の124冊を除籍します。

昨年度の除籍数が261冊、おとししが448冊であり、今年度の124冊はかなり少ない数字となっています。セルフ貸出機での貸し出し漏れや蔵書点検時の点検漏れなども少なからずあるので、例年100冊程度は戻ってきています。

この不明の数字の7割程度が本館の資料であり、今年度不明になった本の傾向について、一般書の岩波新書、岩波文庫は、今まででは不明になることはありませんでしたが、今回18冊不明となっています。

小説の36冊は、時代小説をはじめとしたものが不明となっています。これは、昨年度も同じような傾向でした。

また、芸術の分野の26冊の中では、相撲、麻雀、囲碁など趣味の本が、特にふれあいセンターで所蔵している本が不明となっていることが目立ちました。

また、本館玄関にICゲートを導入し、現在は郷土資料・参考資料のみの持ち去りを防止するのみの運用ですが、今後5年間で西尾市が所蔵しているすべての資料にICタグを貼ることにより、セルフ貸出機や窓口での貸し出し漏れ、持ち去りなどがなくなるのではないかと期待しています。

（質問）

・今227冊のうち、140冊が不明という認識でよいのか。

→227冊は、今年度初めて不明になった資料で、例年100冊程度は戻ってきているの

で、最終的には令和4年度や令和3年度と同じような数値になると予測しています。

(質問)

- ・安城の図書館のICゲートでずいぶん古い本を借りたときに貸し出しの手続きをしたにもかかわらず、ゲートで引っかかってしまったことがあった。そのあたりの対応用法も考えておいてほしい。

→今後、このようなことがあると想定して、あらかじめ対応方法を考えておきます。

(質問)

- ・ICゲートを設置して、実際に感知したケースはあるのか。
→現時点では郷土資料・参考資料のみに貼付しているのと、設置して間もないので、感知したケースはありません。

(質問)

- ・不明となっている芸術の本でふれあいセンター所蔵の本が多いということは、ふれあいセンターの職員は知っているのか。
→お伝えしていないので、周知する。

(2) 図書館のアンケートについて（生田館長補佐より説明）

アンケートの調査対象者は、本館、分館の入館者を対象としており、今年度の調査期間は、11月21日から12月24日までとし、各館のカウンターで来館された方にアンケートを配布、その場で記入をお願いし回収しています。

アンケートの内容については、平成29年度の図書館協議会のなかで、アンケート項目は毎年同じものとし、その数字の推移を参考としていくことで決定しました。ただ、途中コロナ渦でイベントなどが開催できず、令和2年度、3年度はイベントの項目を外し、コロナ渦の来館頻度や感染症対策についての項目を追加し実施しました。

また、令和2年度に読書通帳と電子図書館を導入しましたので、それ以降はその2つの項目を追加しました。今年度のアンケートの内容については、ほぼ平成29年度に決めたものに読書通帳と電子図書館を追加したものとなっています。

本来であれば、アンケートを開始する前に図書館協議会の席で内容等をお伝えすべきところでしたが、すでに始めていることをご了承ください。次回の図書館協議会でアンケートの結果を説明しますので、今回はアンケート内容の報告のみとします。

(質問) なし

(3) 図書館情報システムの更新について（黒野主任主査より説明）

図書館情報システムは、京セラコミュニケーションシステム株式会社の「エルシエロ」を平成30年度より導入しています。

エルシエロの全国シェアは、全国で100館導入しており、全体の10%程度、県内のシェアについては、16館で導入、全体の30%を占めています。

近隣市町については、西三河9市1町のうち、5市あり、刈谷市、安城市、知立市、高浜市、西尾市がエルシエロを導入しています。

使用期間については、令和5年11月1日から令和10年10月31日までの5年間、パソコンやプリンタなどの機器リースとともに長期継続契約を結んでいます。

今回の更新の特徴として、予約本受取館である横須賀ふれあいセンターに図書館情報システムを導入しました。予約本受取館の中で昨年度、一昨年度の貸出件数が一番多かった横須賀へシステムを導入し、その動向を見ながら将来的には西野町や鶴城への導入も検討していきます。

また、本館、分館のバーコードリーダーの無線タイプを導入しました。この1か月間、無線バーコードリーダーを使用してきましたが、読み込みがとんでしまったり、

バーコードの桁数を少なく読んでしまったりという不具合が発生していますので、いったん有線タイプに戻し、無線のものはメーカーに返品し、検証している状態であることを報告します。

今回の更新についての計画、課題等は、市内の図書館に蔵書しているすべての資料にICタグを貼付し、貸出・返却処理や蔵書点検処理の高速化を図ります。例えば、安城市のアンフォーレのように、ICタグを検知する機械に本を置くだけで貸出が完了するように、利用者の利便性を図ることができるよう、進めていきたいと考えています。

また、図書館アプリを検討していきますが、現時点で図書館業界ではあまり浸透しておらず、秋田市立図書館と浜松市立図書館が導入している事例がありますので、図書館アプリとシステムのエルシエロの連携が可能かを含めて進めていきたいと考えています。

(質問)

・図書館アプリとICゲート両方導入している館はあるか。図書館アプリはカード忘れのときなどに有効なのでぜひ早く導入してほしい。

→ICタグと図書館アプリとの関連性はありませんが、図書館アプリの導入については、導入している自治体を参考にしながら進めていきます。

(質問)

・予約本受取館として西野町、鶴城、横須賀を指定した理由は、市内の借りる人のデータなどを根拠としたのか。本館と鶴城、西野町は距離が近いと思うが。利用者の利便性を考えて、例えば一色南部地域などの他の施設にも予約本を受け取れる施設を増やしてほしい。

→合併以前から鶴城と西野町は予約本受取館として指定されていますが、昨年度に新しい運営基本計画を策定しており、また合併に応じて施設も増えていますので、教育委員会施設に限らず受取ができる施設の活用なども考えながら、ご意見を踏まえ検討していきます。

(4) ICタグに関する業務について（黒野主任主査より説明）

資料の管理をバーコードからICタグに変更することにより、貸出、返却処理等の高速化、ICゲートを活用し盗難防止を図るとともに、貸出・返却、予約本の受取のセルフ化により、利用者の利便性を図ることを目的としています。

西尾市の実施計画において、図書館資料保存事業として、一連のICタグ事業については、令和4年度から令和10年度までの計画で認められています。

ICタグの近隣市町の導入については、安城、岡崎、豊田、みよし、碧南、幸田（碧南、幸田はタトルテープを使用）が導入しており、貸出、返却、予約本の受取を行っているのは、安城、豊田であり、セルフ貸出のみ行っているのは、岡崎、みよし、西尾です。

ICタグに関する業務経過及び計画について、令和4年度から令和10年度までの事業については、令和4年度に本館の郷土資料及び参考資料の約3万冊にICタグの貼付を行いました。また、令和5年度にはICゲートを設置し、郷土資料及び参考資料の盗難防止を図っております。令和6年度から令和10年度までは、市内図書館の資料74万冊にICタグを貼付する作業を行います。さらに令和10年度には、図書館情報システムの更新と並行して、分館にもICゲートを導入する予定をしています。

ICゲートの導入については、ICタグを貼付した資料を持ち出そうとゲートを通過すると、ゲートが赤く点滅し、アナウンスが流れます。また、ICゲートには管理用のパソコンが接続されており、持ち出そうとした時間や資料のタイトルなどを表示します。さらに、ICゲートは入館者数もカウントしており、管理用のパソコンで表示され、日別、月別の統計を出力することができます。

ICゲートについては、会議終了後にデモを行いますので、ご覧ください。

(質問) なし

3 その他

(質問)

- ・ふれあいセンターに設置されている本棚について、どのように固定されているか把握しているか。

→旧文庫館（寺津、福地、米津）については、施設管理をしている生涯学習課に問い合わせ、確認をします。

※会長により西尾市図書館協議会を閉会。

4 閉会あいさつ 鈴木教育部次長

※協議会閉会后、玄関前ICゲート付近にてICゲートのデモを実施。その後、適宜解散。